

【公民館臨時休館】

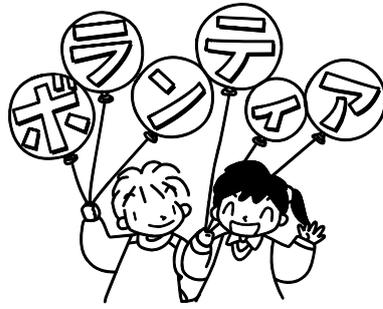
不都合はありませんでしたか？

11月、12月の土曜・日曜で、公民館の利用者がいないとき3回ほど臨時に休館しました。

公民館の利用は、これまで通り希望があればいつでも使えますので、よろしくお願いいたします。

【歌声喫茶 好評開催中！】

- ◆とき 2月26日(土)午後6時30分～
- ◆ところ 赤平市公民館 喫茶ラビカ
- ◆会費 無料
- *喫茶ラビカで、飲み物をご注文いただけます。
- *毎月最終土曜午後6時30分から開催。



ありがとう

支援センターラビカ「あ、の活動にご協力いただいたみなさんです。

池坊若葉会さん、木原 忍さん

本当にありがとうございました。

*ここ最近のボランティア状況についてのお知らせでした。ご芳名もれの方がおりましたら、お許しいただきたく思います。

らびかの 屋根裏部屋

神田 隆(事務局長)

考える=人間の証明

「ゴミが落ちている」「スズメバチがいる」「犬の糞がある」等々…。市がなんとかしろ!

「子どもがおかしい」…学校が(家庭が)なんとかしろ! あっちが悪い! こっちが悪い! なんとかしろ!

問題が起きたときの解決をどこかに押しつける時、人間は考えることを必要としない。経済成長がどんどん進んだ時代は、税金を払ってれば行政(国・道・市町村)が解決してきた。そのため人員を増やし、経費を投入して、さらに借金をして。家財が壊れても、衣類が破れても廃棄して、買い換えてきた。その結果が身近で起きてても、衣類が破れても廃棄して、買い換えてきた。その結果が身近で起きる課題を隣近所で話し合い、一緒に「考えて解決していく」という、一番大切な行為が失われていった。

人間が他の動物と違うのは、「考える」からだと言った人がいる。あらゆる場面で困難な時代を迎えている今こそ必要なことと思う。NHKの「ご近所の底力」では、全国で一緒に考え、物事を解決しているすばらしい事例がたくさん紹介されている。

住民の力を信じたいし、頼りにしたい。

<発行>NPO法人赤平市民活動支援センター 〒079-1136 赤平市本町3丁目1番8(赤平市公民館内) TEL・FAX 32-3888

<発行責任者・表紙>新出 郁子(広報部チーフ) <編集者>佐藤 智子(広報部)

E-mail : rabika@mocha.ocn.ne.jp

URL : <http://www12.ocn.ne.jp/~rabika/>